

AKIRA KUROSAWA SPECIAL

12月31日(水)→1月2日(金)

羅生門

1943 SANSIRO SUGATA
姿三四郎

1946 NO REGRETS FOR OUR YOUTH
わが青春に悔なし

1952 IKIRU

1947 ONE WONDERFUL SUNDAY

1958 THE HIDDEN FORTESS
蜘蛛巢城
1957 THE THRONE OF BLOOD

樫三郎
1962 SANJURO
用心棒
1961 YOJIMBO

1970 DODES'KADEN

影武者
1980 KAGEMUSHI

赤ひげ
1965 RED BEARD
どん底
1957 THE LOWER

3 DEPTHS

KAGEMUSHA

1951 THE IDIOT
白痴
生きものの記録

の
記
録



天国と地獄
1963 HIGH AND LOW
悪い奴ほど
1960 THE BAD SLEEP

*** 5回通し鑑賞券 ¥4,000**

劇場窓口及び市内プレイガイドで発売中

12月27(土)日~'87/1月30(金)日

センターシネマ

■花畑町産文会館隣 ☎(324)8080

12
27
30
火

羅生門

1950 志村 喬／三船 敏郎
京マチ子／森 雅之

【解説】ひとつの殺人事件をめぐる、当事者、目撃者がそれぞれ四つの違った証言をする。この巧妙な構成のなかで黒澤明は、技巧のかぎりをつけて新しい映画の語法を生み出している。大胆なストーリー、宮川一夫のカメラの冴えなど、すべての点で傑作。

(90分)



虎の尾を踏む男達

1945 榎本 健一
大河内伝次郎

【解説】能の「安宅」、歌舞伎の「勧進帳」をシネ・ミュージカルふうにも再構成し、強力な役に喜劇俳優のエノケンを加えて滑稽味もそえる。簡素な道具だてで撮影しているが、映画的な趣向の面白さは抜群である。弁慶を演じる大河内伝次郎の貫禄と気迫は無類である。

(60分)

12
31
2
金

姿三四郎

1945 藤田 進／轟 夕起子
大河内伝次郎／月形龍之介

【解説】明治のはじめ、柔術派との対立を通じて柔道精神にめざめていく青年姿三四郎の青春を描く。黒澤のデビュー作で、後年の力強い作風の萌芽がみえる作品。

(80分)



わが青春に悔なし

1946 原 節子
蓮 蓮

【解説】進歩思想のため大学を追われた教授の娘が、自分の信ずる道をつきつめ、ついに農村生活にその青春を捧げる。原節子演じるヒロインの生き方が感動を呼んだ。

(110分)

1
3
6
火

生きる

1952 志村 喬／金子 信雄
小田切みき／伊藤雄之助

【解説】癌であと半年しか命がないと知った平凡な市役所の課長が、生き甲斐を求めて、小さな公園をつくることに全力をそそぐ。この小さな出来事のなかに、黒澤明は、人間にとっての真の生き甲斐はなにか、という重大な問題を提出する。

(145分)



素晴らしき日曜日

1947 沼崎 勲
中北千枝子

【解説】戦後の混乱期の雨の日曜日、金もなく焼跡の街に放り出された貧しい恋人達が、冷たい失意ののち、やっと明るい夢をとり戻すまでを、しっかりと描いた、黒澤青春映画の佳作。

1
7
9
金

蜘蛛巣城

1957 三船 敏郎
山田五十鈴

【解説】戦国時代、蜘蛛巣城の部将が主君、親友を裏切り、その城主となるがその息子に滅ぼされる。乱世に生きようとする男の物語。シェークスピアの「マクベス」が原作。

(110分)

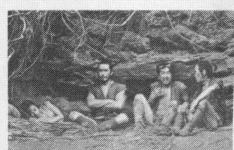


隠し砦の三悪人

1958 三船 敏郎
上原 美佐

【解説】戦国の世、敗戦の将、真壁六郎太が、世継ぎの雪姫と軍用金二百貫と共に敵兵の真只中から、あるときは奇策をもって、またあるときは堂々と武勇をもって、敵中突破に成功するまでを描いた豪快な娯楽時代劇。

(139分)

1
10
13
火

酔いどれ天使

1948 三船 敏郎
志村 喬

【解説】汚れた裏町に住むアル中の老医と若いと太郎。医者は青年の結核をたえず注意してやるが青年はついに暴力の中に自滅する。「野良犬」と並んで黒澤明の代表的傑作。

(98分)



野良犬

1949 三船 敏郎／志村 喬
淡路 恵子／山本礼三郎

【解説】バスの中で腰のピストルをすりとりれた若い刑事が天下をその凶悪犯をもとめて歩きまわる。トップシーンのきらきらとした暑さの質感、オールロケによるドキュメンタリー的手法が観客に刑事の必死をひひしと感じさせる。

(122分)

1
14
16
金

用心棒

1961 三船 敏郎／仲代 達矢
司 葉子／加東 大介

【解説】縄張りの跡目相続をめぐる二人の親分が対立しているある小さな宿場町にふらりやってきた浪人者が巧みな策略で双方のヤクザ同士のたたかえ最後には自分の刀にものをいわせ宿場の悪党どもを掃除してしまう。ユーモアとアクションに黒澤独特の腕の冴えが光る。

(110分)



椿三十郎

1962 三船 敏郎／仲代 達矢
加山 雄三／団 扇子

【解説】山本周五郎の「日々平安」を原作とした黒澤の大家娯楽時代劇。ある城下町でお家騒動にまきこまれた三十郎が若侍たちに力を貸し黒幕の陰謀をたきつづ。ラストの三船と仲代の決闘の凄さは今でも語り草。

(96分)

1
17
20
火

天国と地獄

1963 三船 敏郎／仲代 達矢
山崎 努／香川 京子

【解説】金持ちの家の運転手の子どもが人違いで誘拐され、その身代金が要求される。三船敏郎の演ずる金持ちが「資産の危機にありながらその要求に応じ仲代達矢の警部を中心に監視庁の大々的な捜査がはじまる。

(145分)



悪い奴ほどよく眠る

1960 三船 敏郎
森 雅之

【解説】政界の汚職の問題を扱ったミステリーである。大々的な汚職が暴露されるがその末端の実務を担当させられた課長補佐が消され事件は終る。そこで消された課長補佐の息子か関係者に一人一人に復讐してゆく。黒澤の正義派的な気持ちとぼんやりとした作品である。

(160分)

1
21
23
金

白痴

1951 森 雅之／原 節子
三船 敏郎／久我 美子

【解説】ドストエフスキーの長篇小説を、戦後の北海道におかえた力作。人情風俗をおかえる点で多少の無理は感じられたが、日本映画には類のない観念的な骨の太さを持った人物たちが堂々と渡り合う。スケールの大きな作品になった。

(166分)



生きものの記録

1955 三船 敏郎
千秋 実

【解説】水爆禍をさけようと、一家をあけてブラジル行きを決意する老人。家族から行動の自由を奪われて、彼はついに発狂する。黒澤明が核兵器反対の立場を明らかにした異色作。

(113分)

1
24
27
火

赤ひげ

1965 三船 敏郎／加山 雄三
山崎 努／田中 絹代

【解説】江戸後期、赤ひげと呼ばれる豪快な医師をめぐる物語。貧しい境遇の中で精一杯に生きていく庶民と彼らのために診療所で懸命に活躍する赤ひげの姿にうたれ、人間愛に目ざめていく若い医師のエピソードも印象的。

(184分)



どん底

1957 三船 敏郎／山田五十鈴
中村錦治郎／香川 京子

【解説】江戸の長屋に住む貧しい人々。彼らは人生を諦めきって生活しているが、一人の老人がやってきて彼らの生活を変えようとする。原作はゴーリキーの「どん底」。

(137分)

1
28
30
金

影武者

1980 仲代 達矢／山崎 努
信實美津子／萩原 健一

【解説】戦国時代、武田信玄と瓜二つだったために影武者に仕立て上げられ数奇な運命を辿る男の物語。豪華な合戦シーン、美しい絵画的な構図に黒澤らしさがあふれた大作である。80年度カンヌ映画祭グランプリ受賞。

(180分)



どですかでん

1970 頭師 佳孝／伴 淳三郎
芥川 比呂志／三波 伸介

【解説】埋立地の貧民街を舞台にいつう変った人々の群像で、一人一人の面白い性格や行状を愉しく描いている。「どですかでん」というのは、その一人の電車マニアの少年が「電車ごっこ」するときの擬声語である。

(140分)

